

# TECHNICAL DATA

K I K U S U I

仕上の種類	水系結露防止塗材仕上げ
商 品 名	ケツロナイン

第7版 作成日：2010年09月21日

菊水化学工業株式会社

# 標準施工仕様書

- 仕上げの種類：水系結露防止塗材仕上げ
- 商 品 名：ケツロナイン
- 適用下地：
  - (1) 下塗りにカビフージ A (水性タイプ) を使用する場合
    - a. コンクリート・モルタル
    - b. O.P.、E.P.、V.P.下地(塗膜状態の良好な場合)
  - (2) 下塗りにカビフージ B (溶剤タイプ) を使用する場合
    - a. カラー折板
    - b. 石膏ボード
    - c. 漆喰
    - d. ピニールクロス
    - e. O.P.、E.P.、V.P.下地(チョーキング等の劣化がある場合)
    - f. 上記(1)で環境条件の厳しい場合
- 部 位：天井及び室内壁面
- 仕上がり形状：平吹き状模様・小凹凸状模様・ゆず肌状〔ローラー〕模様

## 【各種共通】

工 程	材 料 ・ 調 合	施工用具・条件	塗 回 数 (20℃)	間 隔 時 間	所 要 量
素 地 調 整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすきサンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とします。				
下 塗 り ※	カビフージ A 主材：17kg 清水：9~17kg	エアレススプレー ウールローラー等	1	3以上	150~180m <sup>2</sup> /17kg 0.09~0.11kg/m <sup>2</sup>
	カビフージ B 主材：16kg 無希釈		1	1以上	80~100m <sup>2</sup> /16kg 0.16~0.20kg/m <sup>2</sup>

## 【平吹き仕上げ(平吹き状模様)】

主 材 塗 り	ケツロナイン 主材：18kg 清水：0~0.2kg	リシンガン 口径：4~6mm 吹圧：0.5~0.6MPa	1	—	約16m <sup>2</sup> /18kg 約1.1kg/m <sup>2</sup>
---------	---------------------------------	------------------------------------	---	---	--

【ソフト仕上げ(小凹凸状模様)】

主材 塗り	基層塗り	ケツロナイン 主材：18kg 清水：0～0.2kg	リシンガン 口径：4～6mm 吹圧：0.5～0.6MPa	1	4以上	約26m <sup>2</sup> /18kg 約0.7kg/m <sup>2</sup>
	模様塗り	ケツロナイン 主材：18kg 清水：0～0.2kg	リシンガン 口径：4～6mm 吹圧：0.2～0.3MPa			約45m <sup>2</sup> /18kg 約0.4kg/m <sup>2</sup>

【ローラー仕上げ(ゆず肌状[ローラー]模様)】

主材塗り	ケツロナイン 主材：18kg 清水：0～0.2kg	多孔質ローラー	1	—	約16m <sup>2</sup> /18kg 約1.1kg/m <sup>2</sup>
------	---------------------------------	---------	---	---	--

注① 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

注② 塗付量は刷毛又はローラー施工の場合で所要量の80～90%、吹き付け施工の場合で所要量の60～70%を目安にして下さい。

注③ 下塗材は、適用下地に応じて選択して下さい。

## ● 工法

### 1. 素地調整

- (1) 素地の乾燥は、十分行って下さい。（含水率10%以下、pH10以下）
- (2) 素地に巣穴、段差などがある場合は、セメント系下地調整塗材「BR #15」等で処理して下さい。

### 2. 材料の混ぜ合わせ

#### (1) 下塗材

- ・カビフージ Aは、材料に指定量の清水を加え均一に薄めて下さい。
- ・カビフージ Bは、無希釈タイプですが良く混ぜ合わせて使用して下さい。

#### (2) 主材

主材は、模様に対する所定の粘度に調整するよう清水を加え均一に薄めて下さい。

### 3. 下塗り

- (1) 下地の吸い込みのばらつきを均一にするよう、だれ・塗り残しのないように塗り付けて下さい。

#### 4. 主材塗り

##### 【平吹き仕上げ】

- (1) 1回塗りを標準とし、見本と同様の模様となるように塗り付けて下さい。
- (2) 工法は吹付けとし、リシンガンのノズルを下地面に対して直角に保ち、模様むら・吹き継ぎむら・吹き残しのないように注意して行って下さい。
- (3) リシンガンの種類、ノズルの口径、吹付距離などにより模様が異なるので指定のものを用いて下さい。

##### 【ソフト仕上げ】

- (1) 2回塗りを標準とし、基層塗り(1回目)は下地を均一に覆い、模様塗り(2回目)で仕上げて下さい。
- (2) 工法は吹付けとし、リシンガンのノズルを下地面に対して直角に保ち、模様むら・吹き継ぎむら・吹き残しのないように注意して行って下さい。
- (3) リシンガンの種類、ノズルの口径、吹付距離などにより模様が異なるので指定のものを用いて下さい。

##### 【ローラー仕上げ】

- (1) 1回塗りを標準とし、見本と同様の模様となるように塗り付けて下さい。
- (2) 材料を多孔質ローラーにたっぷり含ませ均一にくばり塗りを行った後、見本と同様の模様となるように注意して塗り付けて下さい。

#### ● 注意事項

- (1) 施工場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上又は結露の発生が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生ずることがあるので、施工を避けて下さい。
- (2) 材料は、直射日光下及び0℃以下の保管は避けて下さい。
- (3) カビフージ Bを取り扱う場合は、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- (4) 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はMSDS(製品安全データシート)を参照して下さい。
- (5) 刷毛、ローラー、スプレー等、施工方法により若干の色相差を生じことがあります。
- (6) 所定の塗付量に達しない場合や超えてしまう場合には、種々の欠陥を生じる場合があります。所定の塗付量を守って施工してください。

※本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照するようにしてください。

# 組 成 表

**仕上げの種類** 水系結露防止塗材仕上げ

**商 品 名** ケツロナイン

<b>荷 姿</b>	下塗材：カビフージ A (水性タイプ) カビフージ B (溶剤タイプ) 主 材：ケツロナイン	NET 17kg/缶入 NET 16kg/缶入 NET 18kg/缶入
------------	--	---

**組 成**

● 下 塗 材 : カビフージ A

内 容	重 量 (%)
アクリル樹脂エマルション	94.4
防黴剤	1.4
添加剤	4.2
計	100.0

：カビフージ B

塩化ビニル系樹脂ワニス	37.5
溶剤	61.2
防黴剤	1.3
計	100.0

● 主 材 : ケツロナイン

アクリル樹脂エマルション	15.5
シリカゾル	2.3
水	36.1
白色顔料	4.1
吸放湿調整剤	27.2
忌避性充填剤	6.4
添加剤	8.4
着色顔料	適宜
計	100.0

# 性 能 試 験 成 績 書

仕上げの種類	水系結露防止塗材仕上げ	
商品名	ケツロナイン	
供試材料	下塗材：カビフージ A 主材：ケツロナイン	
試験方法	JIS A 6909-2003に準拠	
項目	規 定	結 果
低温安定性	塊がなく組成物の分離・凝集がないこと	合 格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れがないこと	合 格
付着強さ 標準状態	0.3 N/mm <sup>2</sup> 以上	0.6
耐洗浄性	はがれ及び摩耗による基板の露出がないこと	合 格
耐衝撃性	ひび割れ、著しい変形及びはがれがないこと	合 格
耐アルカリ性 A 法	ひび割れ、はがれ、膨れ及び軟化溶出がなく、浸されない部分に比べて、くもり及び変色が著しくないこと	合 格
耐変退色性	ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること	合 格
難燃性	難燃1級表面試験に合格すること	合 格

## 【防露性試験・防黴試験・凍結融解試験】

項目	試験方法	結 果
防露性	JIS A 6909に準拠 (g/m <sup>2</sup> , 1mm厚)	600
かび抵抗性	JIS Z 2911に準拠 菌糸の発育状態	発育は認められない
凍結融解性	ASTM C 666に準拠 40サイクル終了	異常なし

\*上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

# 性 能 試 験 成 績 書

仕上げの種類	水系結露防止塗材仕上げ	
商品名	ケツロナイン	
供試材料	下塗材：カビフージ B 主材：ケツロナイン	
試験方法	JIS A 6909-2003に準拠	
項目	規 定	結 果
低温安定性	塊がなく組成物の分離・凝集がないこと	合 格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れがないこと	合 格
付着強さ標準状態	0.3 N/mm <sup>2</sup> 以上	0.7
耐洗浄性	はがれ及び摩耗による基板の露出がないこと	合 格
耐衝撃性	ひび割れ、著しい変形及びはがれがないこと	合 格
耐アルカリ性 A 法	ひび割れ、はがれ、膨れ及び軟化溶出がなく、浸されない部分に比べて、くもり及び変色が著しくないこと	合 格
耐変退色性	ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること	合 格
難燃性	難燃1級表面試験に合格すること	合 格

## 【防露性試験・防黴試験・凍結融解試験】

項目	試験方法	結 果
防露性	JIS A 6909に準拠 (g/m <sup>2</sup> , 1mm厚)	600
かび抵抗性	JIS Z 2911に準拠 菌糸の発育状態	発育は認められない
凍結融解性	ASTM C 666に準拠 40サイクル終了	異常なし

\* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。